

2026年2月号 もくじ

p 1～4 理事会議事録

p 5. 女性委員会の頁

p 6 子どもの冒険学校 クライミング体験案内

p 7 平和と登山

p 8 山楽登山

p 9 愛宕山 水尾の里 吹田労山

p 10 事故一報用紙

p 11 編集後記

2025年12月25日 理事会 議事録

全国連盟関連

第37回総会 来年2/14(土)午後1時～2/15(日)午後1時 ビジョンセンター市ヶ谷 宿泊 東京セントラルユースホステス

常任理事会から高橋・大西さん代議員登録＝参加 あと1名参加できます

※各会へ連絡…労山加入20年以上の会員 栄誉功労賞を申請してください 12/31締め切り

申請方法 会の代表者が申請 氏名 会員番号 生年月日を下記に連絡 賞状と記念品を来年の大阪の総会で贈呈

全国連盟FAX03-3285-4342 ml: jwaf@jwaf.jp

事務局 1) 11月理事会 未承認案件2件の説明

・転倒滑落停止研究会、全国連盟への予算申請 関連書類(申請書と購入見本図)は当日配布したので削除しています

・教育遭難対策部会計としてのビーコン使用料を初級冬山の会計に移し、新規のビーコン購入資金とする

-->初級冬登山学校で預かっている雪崩ビーコンは、大阪労山の所有物(過去登山学校で購入したモノ)ビーコン貸し出しの優先順位を決める 大阪労山所有の雪崩ビーコンをまとめて管理・貸し出しする。担当は富永さん

(二件とも理事会の承認を得た)

2) 2025年度 大阪労山総会 ・大阪労山総会(3月8日 日曜日) 国労会館で開催予定

・代議員の登録は 昨年同様フォームで行う <https://ws.formzu.net/dist/S679063904/>

組織部 1) 12月1日の組織部会議 ・内容は、2025年度の報告と総括は修正追加

2) 大阪と兵庫県連の話合い ・とき 12月26日(金) 19:00～ 延期本年1月16日となった

自然保護委員会の報告

1. 憲章の実践 12月24日現在 沢村: sawadesu@ares.eonet.ne.jp までお願いします。

+ 鳥獣・らいちょう目撃レポート

目撃日時、場所、天候と動物の様子をメール下さい。写真があれば最高です。

ただし、標高500m以上での目撃に限ります。 (): 前期

らいちょう 11件(29件) 鳥獣 1件(5件) 昆虫 1件(3件)

環境省・いきものログ投稿: 今期・15件 累計・99件 全投稿数・203件

+ 倒木対策 5件(9件)

登山道を塞ぐような倒木は、登山者にとって危険、また踏み荒らしの原因です。

除去および頭突きしそうな木にはテープで表示を！自治体および私に連絡を。

+ 定点写真観察活動（山岳自然の異常現象とかゴミ問題など） 1件（1件）

山岳写真データベースに協力

2. 大阪・水源の森調査 高槻・川久保溪谷：森林組合が担当

熊取・奥山雨山：地域ボランティアグループが2月にクリーンハイクを予定

山門水源の森、5/2で検討中：第1、3土は定期作業、特別日程もあり。

植生調査、枯れ枝回収、除草、道標まわりの軽作業

3. 二上山の産廃問題（奈良労山より情報あり） 12/7 シンポジウム 参加者：280人 八

尾山の会 2名参加

産廃中間処理施設のため、水質問題および自然破壊・景観問題が起きている。 水質問題：

2018年、水田の稲が育たなくなった

景観問題：中間処理なのに産業廃棄物の山が大きなピラミッドとなっている。 見学会：12/20、

2名参加、金剛砂（ガーネット）研磨剤

4. 全登研 11月15日（土）～16日（日）

大阪労山の報告：大峰山立枯れ復活の要因分析、里山調査、友が島ゴミ調査を報告

- (1) 全国自然保護講座 in 青森の総括
- (2) 北陸新幹線京都延伸問題について
- (3) 埼玉県連の自然保護活動
- (4) 奈良県 二上山の産業廃棄物問題について
- (5) 神戸市 六甲山系摩耶山の新しいロープウェイ建設計画について

(6) 山のトイレ問題についての提案 (7) 休憩時、山筋ゴーゴーを実技

5. 友が島クリーンハイク 来年は4月の土あるいは日曜日・フェリー2便で検討

6. どんづる峯・地学ハイク 二上山の火砕流を体感する！

1月25日(日) AM9～12 集合：AM9 どんづる峯駐車場から階段を上った広場

講師：佐藤隆春(理学博士 大阪自然博物館外来研究員) 申込：anamusi17@gmail.com

参加費：500円 定員：15人 お名前、連絡先、ご住所、交通(車 or 歩き)を

連絡ください。

子どもの冒険学校 ・冬の冒険学校 1月25日(日) 比良駅近くのイン谷口付近で実施予定。

現在 子供16人(男の子13人 女の子3人) 大人14人 スタッフ5人 合計 35人

海外委員会 ・来年1月予定の委員会は、2月に変更を予定しています。

教育遭難対策部

1) 冬山連絡会 ・日時 12/25(木) 19:30から 理事会終了後すぐに開始

・内容 -1) 入山情報説明 19:30～19:35 -2) 冬の気象について 19:35～20:00 高田さん(テルル)担当

-3) 岩場アイゼントレの危険性の数値化 富永担当 20:00～20:15

-4) 最近の事故の説明 20:15～20:30

2) 入山情報(12月から1月いっぱいまで)

3) やぐら改造費用全国から振り込み有り ・やぐら経費78540円。不足分あれば、教育遭難対策部の経費として補助する

4) 各種学校の状況

・来年度の山の教室の日程は1月中旬目処に案を出す予定

・中級登山学校、初級登山学校とも来年度計画は未着手

・初級冬山登山学校開校 受講生10名。蓬莱峡と六甲山で、アイゼントレとボッカ訓練実施。

5) 兵庫労山主催の 歩き方の講習会 2月7、8開催

ハイキングセミナー12/7 読図山行スタッフ、生徒計10人で実施。 1/18 比良

八尾山の会理事より質問

八尾から二上山シンポ(12/7)に2人参加。八尾山の会に二上山守る会に加入してほしいとの申し入れがあった

1会で加入するか躊躇している。大阪労山として加入するのか?今後の対応を聞きたい

高橋理事長 大阪の自然保護委員会では加入の可否を論議していない。来月の常任理事会で自然保護委員会からの提案をもとに対応を決めたい

理事会後冬山連絡会が開催され、アイゼントレで滑落した場合の過重の危険性と訓練時の留意点が報告された

また、冬山の天候では予報で「強い●●・激しい●●・非常に～・猛烈な～」などの表現の場合は山では荒天になることを意識することなどが報告された。(以上：文責：高橋明代)

女性委員会ページ

☆ 2025年近畿ブロック女性委員会交流集会

11月29日(土)30日(日)晴

「もっとつながろう、近畿の仲間と」をテーマに、奈良県連 6 名、大阪府連 5 名、兵庫県連 7 名が参加しました。

1 日目は、3 つの班に分かれて塩屋駅より須磨アルプス方面、野路菊の丘までと各班で行動、偶然にも散策組にも宿泊先に行くバス停で合流でき 3 班同時に、しあわせの森へ。広大な敷地内は建物も外国のホテル並みで日本庭園も有る大きな宿舎でした。



夜は研修館に移動し会議室で各県連の報告、「近畿ブロック女性委員会は何故永年継続出来たのでしょうか？」の資料に基づいて改めて話し合いました。

その後、乾燥野菜の座学を大阪担当で講習しましたが凄く好評でした。

2 日目は乾燥野菜の実技を予定してたが昼食の場所が火気厳禁と言うことで朝に準備して参加者に体験して貰いました。ひよどりごえ森林公園内はハイキング道を歩き昼食前に今回も参加者の半分以上が高齢者でこれまでに活動してきたベテラン揃い、やはりこれからは若い人に繋いでいかないといけないので何か面白い企画をしながら活動をしよう話し合い皆の意志を固めて今回の集会は終了しました。



い、やはりこれからは若い人に繋いでいかないといけないので何か面白い企画をしながら活動をしよう話し合い皆の意志を固めて今回の集会は終了しました。

2026年度近畿ブロック女性委員会交流集会は、大阪が担当です。

2026 春



こども冒険学校 春のクライミング

フリークライミングをお子さん、お父さん、お母さんみんなで体験してみませんか？
きっと「ワクワク」「ドキドキ」がいっぱい待っています。
みんなで楽しい1日を過ごしましょう。

月日：2026/4/19（日）

時間：11:00～13:00

場所：比良 げんき村

集合：げんき村クライミングウォール



対象：幼児、小学生、中学生、保護者（クライミングの経験は問いません）
定員：10名程度
内容：初心者向けスポーツクライミングの基礎的なルール・技術の習得
参加費：800円（見学者は無料）当日集金します



【申し込み・問い合わせ先】
子供の冒険学校 担当 大見則親
PDC00616@nifty.com
TEL 075-712-6901（21時まで）

申込みフォーム



メールで申込み



ホームページ



【主催 団体】 大阪府勤労者山岳連盟
〒553-0006 大阪市福島区吉野 3-2-35
一般社団法人 大阪宣伝センター機関紙会館内

TEL 06-6467-8544

<http://bokengakko.aikotoba.jp>

ビキニデーとは

近年、ビキニデーについて新聞、テレビで報道されることが少なくなりました。私たちは平和について考えることで、ビキニデーを学習して知っていくことも大切です。今回このページで原水協に資料をいただき、またその学習会の案内をいただいたので紹介したいと思います。もう一度ビキニデーについてみんなで考えていきましょう。



1954年3月1日未明、アメリカは太平洋ビキニ環礁において広島型原爆の約1000倍の威力をもつ水爆実験(ブラボー)をおこないました。この核実験によって、マーシャル諸島の人びとや多くの日本漁船などが被災しました。

焼津のマグロはえ縄漁船「第五福龍丸」は、アメリカ政府の指定した危険区域外で作業中であつたにもかかわらず、“死の灰”を浴び、23人の乗組員全員が急性放射能症にかかり、無線長の久保山愛吉さん(当時40歳)は「原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい」と言い残してその年の9月に亡くなりました。

この3・1ビキニ事件は、日本国民に大きな衝撃をあたえ、広島・長崎をくりかえさせるなど、全国に原水爆禁止の声がまきおこりました。3千数百万の原水爆禁止署名が集められ、翌55年8月に第1回原水爆禁止世界大会が開催されました。原水爆禁止日本協議会(日本原水協)はその年の9月に結成されました。

以来、58年間、日本の原水爆禁止運動は、核戦争阻止、核兵器廃絶、被爆者援護・連帯を一貫してかかげ、世界諸国民や非核国政府と連帯して、世論と運動をひろげてきました。いまや核兵器廃絶は世界の大きな流れに発展しています。

3・1ビキニデー集会は、この久保山さんの遺志をひき継ぎ、原水爆禁止運動をになう全国の運動と静岡県の実行委員会が共催してきた伝統ある行事です。ビキニデー集会では、核兵器廃絶を求める署名の推進、被爆者とビキニ水爆実験被災者の連帯・交流を深めます。さらに8月の原水爆禁止世界大会にむけて内外での広範な共同を呼びかける場となるでしょう。

このビキニデーがなぜ行われるのか? ビキニデーに参加予定されている皆さんへ
事前学習として、3回のDVD等の上映会を行います。

第1回 2月11日10時～「3000万の署名大国を揺るがす」第五福龍丸が伝えた核の恐怖

第2回 2月15日(日)14時～「原爆稲穂 長崎50年目の稔り」

第3回 2月23日(月祝)14時～「水爆実験60年目の真実」

～ヒロシマが迫る“埋もれた被ばく”～「ばらの祈り」～ビキニ水爆被災70年企画～

場所：大阪原水協会議室

主催：大阪原水協 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210 TEL 06-6765-2552

滑落停止ができたなら、はじめて、パートナーやね

— いま一度、防御技術を —

OWCC 中川和道 20260115

5年前2021年、『事故防止は仲間の知恵で — 事故の記録 第2集 —』[1]が大阪労山の仲間によって作られた。その中で河野仁 副会長が「防御技術をよく勉強、研究することが大切」という一文を寄稿された。もう一度読み直してみた。みなさまと分かち合いたいと思う。

労山の仲間たちが登山者として育つには、まず、山岳会に入会する。はじめは「新人」と呼ばれ、先輩から手ほどきを受ける。昔も今も、これは変わらない。新人は準会員とも呼ばれ、引率登山でつれていってもらうのが権利だ[2]。実力をつけて自立し自主登山ができる水準になって初めて、会のリーダー会が認め、「会員」あるいは「正会員」になれる。

正会員になれる条件は山岳会によって千差万別であるが、ここでは、防御技術の到達要求レベルについて見ていこう。

雪山では、何といっても、滑落停止が重要だ。雪氷での滑落は「誰もが、必ず起こす」というのが常識だ。雪や氷の状況は千変万化の様相を呈するので、どんなに技術を高めても、滑落の発生をゼロにすることはできない。発生ゼロを目指すのではなく、必ず起こす滑落が事故に至るのを阻止できる滑落停止技術の習得を目指すことこそが命を救う、と考えるのである。

滑落停止技術は、必須となる防御技術の典型である。滑落停止ができない人は自主登山で冬山に入ることにはできない。連れて行ってもらい、危ない時にはロープを結んでもらって行動する、引率登山に徹するべきである。「滑落停止、自信あります」となって初めて、自主登山のパートナーとして、パーティーを組める。さらに滑落停止が教えられるようになると、コーチになれる。リーダーへの一歩を踏み出すのだ。

中川の周りでも、滑落停止技術によって助かった事例は多い。2022年5月、穂高岳沢で仲間の一人が滑落した。何度も何度もピッケルを打ち込んだが、雪が腐っていてずるずると滑り続けた。断崖の真上でついに停まった。日頃の訓練の成果である。あの時は、本当に怖かった。有名な登山家の例では、遠藤晴行さんが「エベレストでの滑落」というコラム[3]を書いておられる。必読だ。

中川もかつてそうだったが、雪山を始めて間もない頃は、防御技術よりも、攻撃技術に目を奪われがちだ。某首相の発言のように、「そんなことよりも」、という訳である。だが、穂高で自分が滑落し、必死で停めた経験をした。「防御技術がないと、これは本当に死んでしまう」と気づいた。

リーダー養成カリキュラムでは、防御技術が重点で、登る技術(攻撃技術)は2の次。宇宙飛行士の訓練では、防御技術訓練とトラブル対処訓練が、何と、90%を占めるという。こうやってリーダーになっていくわけだ。我々も参考にするとよさそうだ。

みなさまも、滑落とその停止のご経験が一度や二度はおありだと思う。「防御技術をよく勉強、研究することが大切」なことを、大阪労山の仲間たちと、いま一度、分かち合いたいと思う。

[1]大阪府勤労者山岳連盟 事故の記録 編さん委員会、『事故防止は仲間の知恵で 大阪府勤労者山岳連盟における事故の記録 第2集 1998▶2020』、2021年9月1日。

[2]引率登山・自主登山とは何か、については、山の教室「パーティー論・リーダー論」で学んで下さい。

[3]遠藤晴行、『雪山登山』、ヤマケイテクニカルブック3、2006年11月、90ページ。

愛宕山・水尾（柚子の里）鶏鍋 or 鳥すき&柚子風呂 山行

先輩が始めた上記の山行が 20 年以上続きほぼ恒例の新春行事となっています。先輩が体調不良後は、その思いを引き継ぐ方がいて途切れなく続いているのは特記に値すると思います！そして今後も続くことを願っています。

また、現役会員だけではなく OB・OG 会員の参加もあり吹田労山の歴史とか山行経験を聞いたり、と貴重で楽しい時間を共有できています。

今年も OB の参加有り。吹田労山の重鎮で、府連の役員もなさっていた徳野さんで、生駒は庭的なので穴場ルートを案内してくださる約束をしました。

山行の最終ゴールは会場で ①保津峡駅から直行 自治会バス利用 or 徒歩

②駅から『米買道』コース 駅から『ツツジ尾根』コースで愛宕山（神社参拝）で、21名の参加。自身の体調等でコース選択は自由。

グループの到着・入浴を待ち、全員揃ったところで「労山ニュースに投稿します」の確認をとった後、「今年も元気で楽しみましょう！」で乾杯。皆さんの空腹、早く喉潤したい、の圧に負け『全員集合写真』は撮れませんでした。 帰路は、自治会バス利用する人、あぶれた人は酔い覚まし兼ねて駅までぶらぶら歩きました。

（佐伯）

提出日 _____

事故一報

提出者	氏名	会員番号	地方連盟	大阪府 勤労者山岳連盟
	団体名		団体番号	

事故者	氏名	会員番号	年齢	性別
------------	----	------	----	----

事故発生日時	年月日	時刻	<input type="radio"/> 有雪期 <input type="radio"/> 無雪期
---------------	-----	----	---

事故発生場所	山域	都道府県
	山名	(標高 メートル)
	場所	

山行の形態	<p style="text-align: center;">手書きの場合は下記いずれかに○</p> <p style="text-align: center;">無雪期登山 積雪期登山 登攀 冬季登攀 沢登り 氷瀑 人工壁 山スキー クロスカントリースキー スノーボード 海外トレッキング 海外登山 訓練</p>
--------------	--

事故の原因	<p style="text-align: center;">手書きの場合は下記いずれかに○</p> <p style="text-align: center;">転・滑落 転倒 落石(落氷) 道迷い 病気 凍傷 高度障害 火傷 落雷 雪崩 虫・動植物 荒天</p>
	その他

パーティー人数		救助捜索費 <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	ココヘリ加入 <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
----------------	--	--	--

事故の状況	
--------------	--

傷病名	
------------	--

交付申請の予定	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない <input type="radio"/> 未定	全国労山に提出とともに、大阪労山にも提出して下さい。 jikotodoke@googlegroups.com Fax 06-6467-8545
----------------	---	--

交付申請書	受取人	<input type="radio"/> 基金担当者 <input type="radio"/> パーティーリーダー <input type="radio"/> 会・クラブ代表者 <input type="radio"/> その他			
	送付形式	<input type="radio"/> 書面の郵送 <input type="radio"/> PDFファイルのメール送信			
	送付先	氏名	会員番号	電話番号	
		郵便番号	住所		
		メールアドレス(メール送付の場合は必須)			

★交付申請は、事故一報が**事故発生日から30日以内**に運営委員会に届いていなければできません。時効で交付資格を失わない為に、いま症状が現れていなくても、また交付の申請をするか判明しない時でも、事故発生の報告をしましょう。FAX 03-3235-4324 メール kikin@jwaf.jp

★**事故一報と共に、会に提出し受理された山行計画書のコピーを添付して下さい。**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 労山基金運営委員会 7F-7F 0120-44-2742(平日10時～18時)

OWAF メーリングリストのご案内

大阪労山の公式のメーリングリスト（以下、OWAF-ML）のご紹介です。OWAF-MLには連盟行事、伝達事項の案内や、各種登山学校や訓練、講習会の案内などが流れています。その他各登山道の状況、アルプスの山小屋情報、各会入山情報など、相互の情報交換の場として利用されています。大阪府連の会員であればだれでも登録できますので是非ご加入ください。

- **登録方法** 公式な ML なので、登録は原則として各会でまとめていただいております。各会の登録担当者までご連絡をお願いします。担当が分らない場合は直接登録いただいても構いません。
- **各会登録担当者様へ**
各会、代表・事務局長・理事の方は登録必須とさせていただきます。登録担当者を含めて各役職に変更があった場合にもご連絡をお願いいたします。また退会された会員の方のアドレスもご連絡をお願いいたします。
- **登録申請フォーム** <https://ws.formzu.net/dist/S91846322/>



登録申請フォーム

●編集後記 休載

今月も各会より会報を送っていただきました。

きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぼんぼん山（高槻）、こもれび通信（山の会こもれび）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿兒島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）、八尾山の会

発行日 2026年（令和8年）1月19日 No.479（2026年2月号）

編集・発行 笠井、園、高橋、中井、中尾、大西